TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵-キリストの一つの体

コリントの信徒への手紙一 12:12-31

2025年7月5日 & 6日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。前にお伝えしたように、来週は新しい礼拝堂の「改訂版インパクト・ビルディング・プロジェクト」をご紹介します。引き続き、神のお導きと恵みを祈りましょう。

コリントの信徒への手紙一では、パウロがコリント教会の問題について話していました。彼らは、社会的地位が異なる兄弟姉妹に愛を示すことも、霊的な賜物を用いて互いに奉仕することにも興味を示しませんでした。

神の言葉によって、教会は実際にはどうあるべきかを見ていきます。祈りましょう。

II. キリストの一つの体

(1)すべては一つ

コリントの信徒への手紙一 12:12-13 を見ましょう。「12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様です。13 なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼(バプテスマ)を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。」

パウロは、教会として私たちは「キリスト」の「一つの体」を成す「多くの部分」であると言っています。

私たちは、ひとつの御霊によってバプテスマを受け、一つの体になったのです。

パウロが言っているのは、私たちが自分の罪を認め、イエスに罰を受けさせたことを受け入れ、神の赦しと助けを求めた時に起こった「霊的な現実」についてです。そのようにすると次のことが起こります。

私たちはイエスの霊に洗礼を受け、浸されます。イエスとともに死ぬのです。

私たちは皆、イエスの霊を飲みます。つまり、イエスの霊が私たちの中に入って、満たすのです。皆、同じ聖霊に浸され、満たされています。私たちの新しい人生の始まりです。

私たちはイエスの体の一部になります。聖霊は私たちの心を神の思いで満たし、私たちの望みを神の望みに変え、私たちの行いを神の行いに置き換えます。文字通り、生きているのは私たちではなく、内に住むキリストです。私たちの水のバプテスマはこれを表しています。

聖霊を受けるまでは、私たちはサッカーをしている小さな子供のようなものです。望むのは、自分のやりたいことをすること、自分がボールに向かって走り、ボールを蹴り、得点を入れ、ヒーローになることだけです。聖霊に浸るということは、サッカーチームに加わって、組織的なサッカーを学び始めることに似ています。

チームは、その作戦や目標で私たちの心を満ち溢れさせ、私たちが望むことをチームの望むものに変え、チームの望むようにプレイするように変わります。ある人は熟練のフォワード、ある人は熟練のミッドフィルダー、ある人は熟練のディフェンダー、ある人は熟練のゴールキーパーとして。

違う点と言えば、私たちはサッカーをしているのではなく、イエスの体であるチーム・イエスでプレイしていることです。聖霊は、私たちがイエスの体のさまざまな部分となるように導くでしょう。このチームには、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、身分の区別もなく、全員が平等で、一緒に働いています。これが教会です。

(2) 多くの部分からなる体

14～20 節です。「14 実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。15 足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。16 耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。17 もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこで嗅ぎますか。18 そこで神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。19 すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょう。20 しかし実際は、多くの部

分があっても、体は一つなのです。」

ここにコリント教会の問題があります。中には積極的に教会に関わっている人々（教えたり奉仕したりしている人々）の霊的な賜物に感銘を受ける人もいました。そういう人たちは、自分たちは教会に必要とされていない、あるいは教会に何も提供できないと考えたのです。

パウロはこう言っています。「いいえ、聖霊があなたをここに置いたのなら、あなたはその体で一部です」足なら手である必要はありません。耳であれば、目である必要はありません。ただ、ありのままので、あなたが受けた賜物をその体のために使いなさい。

息子が小学生だった頃、クラスメイトの一人がダウン症で、特別な配慮が必要でした。でも、とても無邪気でフレンドリーな男の子で、子供たちはみんな彼を愛していました。みんなでその子のことを気遣い、関わり、彼のために特別な取り決めをしてくれました。

先生は、その子のおかげで、このクラスが学校で一番気づかいのあるクラスになったと話してくれました。もしその子が「僕は、他の子とは違うから、このクラスの一員じゃない」と言っていたら、ひどい間違いです。知らなかったかもしれませんが、その子の存在はすべての子供たちに影響を与え、そのクラスをとても特別な物にしていました。

神は私たち一人一人に特別な霊的な賜物を与えてくださいました。もし、私たちには教えることも、歌うことも、料理することも、案内係もすることもできないから、教会が私たちの奉仕を必要としていないというのなら間違いです。それは、ダウン症の少年がクラスに何も貢献できないと思っているようなものです。

21～26 節です。「[21] 目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。 [22] それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。 [23] 私たちは、体の中でつまらないと思える部分にかえって尊さを見いだします。実は、格好の悪い部分が、かえって格好の良い姿をしているのです。24 しかし、格好の良い部分はそうする必要はありません。神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体を一つにまとめ上げてくださいました。[25] それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。 [26] 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

「目」と「頭」は、リーダーシップを取っている人、つまり裕福で高い教育を受けている人の例えです。そのような人々は特別扱いを受ける傾向があり、教会は自分たちに依存していて、他の人たちは要らないと考えがちです。

「弱い」部分とは、「内臓」、つまり社会的に、信仰的にそれほど素晴らしく見えない人々などを例えています。

「つまらない」部分とは、隠す必要のある「身体のプライベートな部分」を指します。

これがパウロの言うことです。弱い内臓やつまらない部分は見栄えがよくないかもしれません。でも私たちが生きるために重要なものです。

アルバート・アインシュタインは史上最も偉大な人間の一人でした。しかし、アインシュタインの頭脳がどれほど優れていたとしても、彼には体の他の部分も必要でした。血管、腹部の動脈が破裂したときに、彼は亡くなりました。終わりです。アインシュタインが彼自身であるためには、体のあらゆる部分が必要でした。

中には素晴らしい賜物を持つ方もいるでしょう。ですが、それがどれほど素晴らしかろうと、他者がいなければ意味がないのです。イエスを完全に表すためには体の他の部分が必要なのです。

24b～25 節に「神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体を一つにまとめ上げてくださいました。それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。」と書かれています。

パウロは、分裂を防ぐために神は意図的に名誉の少ない者にさらに大きな名誉を与えると述べています。

新訳聖書によれば、マルコ（もしくはヨハネ・マルコ）はパウロとの伝道の旅で離脱したそうです。その後、パウロは彼と一緒に伝道に行くことを断りました。でも神は「不名誉な者」を尊びます。神はマルコを使って『マルコによる福音書』を書かせました。マルコは神の教会にとってなくてはならない存在でした。

何年も前に、この教会のクリスマスの礼拝で、ある人が救われました。彼女は、力強いメッセージや歌声ではなく、聖歌隊のひとりの笑顔が心に触れたのだと言いまし

た。神様は「弱い者」を尊びます。その人の笑顔は、神の教会にとってなくてはならないものだったのです。

神は、尊厳の少ない者にさらに尊厳を与えて体を一つにまとめ、体に分裂が起こらないようにしました。だから私たちはお互いを大切にするのです。

(3) 互いに奉仕し合う

27～31 節です。「 27 あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。 28 神はご自身のために、教会の中でいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に癒やしの賜物を持つ者、援助する者、管理する者、種々の異言を語る者などです。 29 皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。皆が奇跡を行う者でしょうか。 30 皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がそれを解き明かすでしょうか。 31 あなたがたは、もっと大きな賜物を熱心に求めなさい。」

パウロは、神が私たちに与えた霊的な賜物がどれほど多様であるかを説明しました。教会を設立した 3 つ賜物から始めました。

1 つ目：使徒…12 人の使徒とパウロは、教会を建てるためにイエスに遣わされました。

2 つ目：預言者…人を牧するために神の真理を宣言する人々。

3 つ目：教師…神の真理の意味と適用を教える人々。

① 奇跡と癒しの賜物…神の奇跡や癒しの力の代理人となること。
② 援助する者…これそこ信仰の賜物です！ 他の人を助け、サポートすること。どんなことでもいいのです。人を歓迎する、掃除する、他のミニストリーを手伝う。これはほとんどの人が持っているものです。
③ 管理する者…人を指導したり、助言を与える。
④ 異言…また、これを最後にしています。おそらくコリントで彼らが抱えていた問題のためでしょう。パウロは 14 章で説明します。

あらゆる贈り物は大切なものですが、私たちは「より大きな賜物を望む」べきだ、つまり共通の利益のためにより良いものを望むべきだ、とパウロは言っています。ただし、一番重要なことは、自分の賜物を神の民のために使うということです。

幼稚園に行くと、たいてい私たちは、エネルギーと生命力に満ちた子供たちを目にします。しかし、機会があったら、そこで「働く大人たち」の姿を見てください。

そこにはまったく異なる世界が見えるでしょう。そこには先生、ヘルパー、事務員、運転手などさまざまな人たちが働いています。でも彼らは皆、子供たちを愛し、子供たちの世話をし、子供たちが一緒に学び成長する手助けすることに全力を尽くしています。

教会も幼稚園と似ていますが、そこで働く人たちもまた、一緒に学び成長するために愛や世話、助けを必要とする子供なのです。それが教会の光景です。そして聖霊は私たち一人一人に、神の教会を気遣う特別な何かを与えてくださいました。

サタンに騙されて、教会に対する神からの賜物を無視しないでください。あなたの才能を見いだし、育てるためにイエスに助けを借りましょう。それは「助ける」という賜物かもしれません。ただ誰かに電話をかけたり、「こんにちは」と声をかけたりするだけのことかもしれません。笑顔を向けるとか、ほかの何かかもしれません。

神があなたの心に何を入れたとしても、それを試してみましょう。発見してください。育ててください。そうすれば、教会の人々はあなたに与えられた賜物から恩恵を受けられるのです。一緒にキリストの体を築きあげましょう。

でも、もしイエスを信じていないなら、まず信じることから始めてください。そうすればあなたも救われて、賜物を受け取るのです。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2825jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月7日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的に成長するために
9月21日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方

★クラス 210
スモールグループトレーニング
10月4日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷（女性３名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月１回～、土曜日16時にTBCにて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org